事務事業マネジメントシート（令和 7年度実績と令和 8年度計画）

令和 8年 6月 3日更新

事務事業名	指定ごみ袋販売事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 □「こどもまんなか社会」の構築 □産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系 政策	4 生活環境の健幸	所属部	市民生活部	課長名	緒方
施策	18 廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	大久保・原田
業務分野	61 ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班	（内線）	1143

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	4	2	1	10193	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 合志市収入証紙条例

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返（開始年度 18 年度） □期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	平成6年度にごみ袋が有料になってから事業を開始した。 合志市指定のごみ袋の製作、ごみ袋を売りさばき店に販売、販売手数料の支払いを行う。 人口の増加及びごみの分別の種類が増加したことに伴い、ごみ袋の販売量が年々増加している。
【業務の流れ】	ごみ袋の製作（業者選定、仕様書渡し、入札、契約、検査、納品、支払い）事務、在庫管理、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋受け渡し、売さばき手数料の支払い
【主な予算費目】	役務費、委託料、報償費

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

ごみ袋の在庫管理、製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。
（ごみ袋販売枚数　燃やすごみ用2,668,100枚、資源物用659,760枚、不燃物用86,540枚、粗大ごみシール5,630枚、証紙（ごみ袋）販売収入64,543,350円）
合志市長からの合志市指定ごみ袋等の今後のあり方についての諮問を受け、内容について協議するため、合志市ごみ袋のあり方検討委員会を組織し、会議を開催した。
以上の成果として、指定ごみ袋の販売収入をごみ収集運搬業務委託に対する経費の一部とした。

②8年度計画（次年度に計画している主な内容）

ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料の支払い、在庫管理を行う。
合志市長からの合志市指定ごみ袋等の今後のあり方についての諮問に対し、合志市ごみ袋のあり方検討委員会より答申を行う。

③予算の主な増減の理由

ごみ袋作製枚数の増加に伴うごみ袋作製委託料の増

成果指標		(単位)	データ取得方法
⇒ ア	ごみ袋販売に要する時間	時間	
イ			
ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	時間	720	730	740	740	750	760	760	760
	イ									
	ウ									
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	49,479	46,896	55,225	47,002	55,448	66,400	67,400	68,400
	（A）事業費計	千円	49,479	46,896	55,225	47,002	55,448	66,400	67,400	68,400

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

ごみ袋作製業務委託事務、ごみ袋の在庫管理、製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。（ごみ袋販売枚数　燃やすごみ用2,668,100枚、資源物用695,760枚、不燃物用86,540枚、粗大ごみシール5,630枚、証紙（ごみ袋）販売収入　64,543,350円）

(4)今後の事業の方向性

□廃止　□縮小　□事業のやり方改善　☑現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務事業マネジメントシート(令和 7年度実績と令和 8年度計画)

令和 8年 6月 3日更新

事務事業名	ごみ減量及びリサイクル促進事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	□「こどもまんなか社会」の構築	□産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	市民生活部	課長名	緒方
政策	4	生活環境の健幸					
施策	18	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	尾ノ上	
業務分野	61	ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班	(内線)	1144	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	4	2	1	11476	合志市再生資源集団回収助成金交付要綱 合志市生ごみ処理機器設置事業補助金交付要綱、合志市ダンボール

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返 (開始年度 18 年度) □期間限定複数年度 (～ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	再生資源物の回収を行う団体に対し、回収量に応じて助成金を交付する。(平成5年度開始、10円/kg(古紙類、缶類、布類、ペットボトル(H19より追加))、10円/本(1升ビン)、8円/本(その他のビン)) コンポスターは昭和60年度から、電動式生ごみ処理機は平成3年度から補助を開始した。(補助額:購入額の1/2以内、電動式生ごみ処理機は上限30,000円/基、生ごみ処理容器・EM容器:上限4,000円/基)。前回補助金交付から5年以上経過した場合の再購入は補助対象としている。また、電動生ごみ処理機は高額なため、事前に試験的に利用できるよう電動生ごみ処理機の貸し出しも実施。ダンボールコンポストは1世帯当たり一式500円/基、機材のみは350円/基(1世帯当たり年間4基を上限)に補助を行う。 いずれもごみ減量化に有効であることから、今後も継続して事業を実施していく。
【業務の流れ】	(再生資源集団回収助成金)回収団体登録受付、助成金交付申請受付、審査、交付決定・確定通知、支払事務 (生ごみ処理機設置補助)補助金交付申請受付、審査、交付決定・確定通知、支払事務 ごみ減量に関する取り組み(生ごみ処理機の貸し出し)受付・貸出・アンケート集計
【主な予算費目】	職員手当(時間外)、役務費(通信運搬費)、負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

令和7年5月2日に生涯学習課主催の子ども会連絡協議会に参加し、再生資源集団回収助成金事業についての説明及びチラシの配布を行い周知啓発を行った。12月には未申請団体、2月には全団体を対象に助成金申請手続きの案内通知の発送を行った。事業を実施した57団体に対し助成を行った。(再生資源集団回収助成金:申請数126件、助成額4,308,549円)
電動式生ごみ処理機64基、コンポスター16基、EM容器2基、ダンボールコンポスト42基に対し補助金を交付した。ホームページに掲載し、イベント等でチラシを配布することで周知を図り、ごみ減量化に努めた。(生ごみ処理機設置補助金:申請数124件、補助額1,638,350円)
以上の成果として、市民のごみの減量とリサイクル意識の醸成、向上に寄与することができた。

②8年度計画(次年度に計画している主な内容)

子ども会総会を通じた再生資源集団回収助成金事業を周知し、併せて本事業の新規登録団体増加及び既登録団体の再生資源集団回収活動の活発化を図る。
市HPや広報誌を通じ生ごみ処理機器設置事業補助金の周知啓発を図り、ごみ減量化に繋げる。

③予算の主な増減の理由

電動式生ごみ処理機の購入に伴う備品購入費の増

成果指標		(単位)	データ取得方法
⇒ ア	助成を受けた団体数/登録団体数	%	補助実績集計より
⇒ イ	生ごみ処理機設置補助件数	件	補助実績集計より
ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	%	87.1	86.9	85	80.2	85	85	85	85
	イ	件	87	109	90	124	90	90	90	90
	ウ									
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	5,001	5,867	7,391	5,984	7,459	9,345	9,295	9,295
	(A) 事業費計	千円	5,001	5,867	7,391	5,984	7,459	9,345	9,295	9,295

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

(再生資源)令和7年度は、登録のある71団体のうち57団体に対して4,308,549円の助成金交付を行った。
(生ごみ処理機器)令和7年度は、電動式生ごみ処理機64基、コンポスター16基、EM容器2基、ダンボールコンポスト42基に対し1,638,350円の補助金交付を行った。
再生資源集団回収助成金事業及び生ごみ処理機器設置補助金事業を実施することにより、市民のリサイクル意識の醸成・向上に寄与することができ、また、一人当たりのごみ排出量の削減を行うことができた。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

事務事業マネジメントシート(令和 7年度実績と令和 8年度計画)

令和 8年 6月 2日更新

事務事業名	ごみ処理及び収集運搬事業	□安全・安心に暮らせるまちづくりの推進	□「こどもまんなか社会」の構築	□産業の共生による市経済の持続的発展

総合計画体系				所属部	市民生活部	課長名	緒方
	政策	4	生活環境の健幸				
	施策	18	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	大久保・尾ノ上
	業務分野	61	ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班	(内線)	1143

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	4	2	1	10188	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、合志市廃棄物の処理及び清掃 合志市ごみ一時保管所整備費補助金交付要綱、合志市再生資源保管

終了、開始年度	□ 7年度で終了 □ 7年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返 (開始年度 18 年度) □期間限定複数年度 (～ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	ごみ収集運搬に関しては家庭系一般廃棄物と事業系一般廃棄物に大別される。 【家庭系一般廃棄物】家庭から排出されるごみを収集し、菊池広域連合の処理施設で適正に処理するため、市民へのごみ分別の周知徹底、ごみに関するトラブル対応、ごみ収集運搬業務の民間委託、資源物の持去り行為に対する取締り等を行っている。 【事業系一般廃棄物】事業所から出る一般廃棄物について、処理の方法等の周知・指導等を行っており、各事業所から排出される一般廃棄物の量を管理し、適正なごみ分別やごみ減量への助言・指導を実施している。 ごみステーション等の清潔保持のため、①ごみ一時保管所及び②再生資源集団回収保管所の整備等を行うにあたり、その管理を担う自治会等の負担を軽減するための補助を行う。(①平成11年度開始、1箇所当たり整備費用の2/3、上限50,000～80,000円 ②平成26年度開始、1箇所当たりの経費の2/3、上限100,000円) 各区が管理しているごみステーションの清掃等をはじめ、ごみの適正分別を図るため、平成11年度より環境美化推進員制度を整え地域全体の環境美化に取り組んでいる。
【業務の流れ】	ごみ収集予定表等(ごみ収集予定表・ごみの分け方出し方等)の作成・配布に関する事務(施行伺・入札・契約・内容校正・納品・支払・配布)、収集運搬業務委託(民間2社)に関する事務(施行伺・見積徴取・契約・業務実施・委託費支払)、ごみに関するトラブルの対応、、資源物持去り行為に対する取締り(早朝パトロールの実施、行為者に対して直接指導)、事業系一般廃棄物の管理(収集運搬許可業者からの月報による事業所毎のごみ量の把握)及び事業所に対する分別等の周知・指導 補助金の事前協議、補助金交付申請受付、審査、交付決定、支払事務、整備予定箇所調査 環境美化推進員向け説明会の実施、報償費支払事務、推進員活動用物品の購入
【主な予算費目】	給料、職員手当、報償費、需用費、役務費、委託料、公課費、負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①7年度事務事業の成果・実績

ごみ収集運搬業務委託に係る一連の事務(業者選定、契約、支払等)及びごみ収集運搬量の確認事務、廃蛍光管収集用箱設置業務委託事務、拠点収集所巡回整理、廃食用油収集所の巡回整理、ごみ一時保管所への資源物持去り禁止看板の設置や持去りパトロール、ごみ収集予定表の作成・配布を行った。新栄温泉団地自治会の方々を対象にしたごみ分別の出前講座を実施した。
各ごみステーション管理者(自治会等)が設置した自治会に対して補助を行った。(申請数25件、助成したごみステーションの数36か所、補助決定額1,006,500円)また、再生資源保管所を設置している団体に対し補助を行った。(申請数2件、助成した再生資源保管所の数2か所、補助決定額81,500円)
環境美化推進員と連携し、年間を通じて地域の美化推進やごみの分別・減量に向けた取組みを行った。令和7年6月に第1回目制度説明会を、令和8年2月に第2回目の環境美化推進員会議を開催した。
以上の成果として、合志市のごみの収集運搬を円滑に行うことができた。

②8年度計画(次年度に計画している主な内容)

違反ごみや分別誤りが依然として発生しているため、引き続き周知を行い適正なごみ分別・収集運搬を図る。また、区・自治会への希望調査に基づき、家庭から排出される剪定樹木の分別収集を行うことにより可燃ごみの削減及び屋外燃焼行為の防止を図る。
地域のごみ一時保管所等の清潔保持を図るため、引き続きごみ一時保管所整備、再生資源保管所整備費の補助を実施する。
環境美化活動に取り組む環境美化推進員向けの説明会等を開催する。

③予算の主な増減の理由

ごみ収集運搬業務の労務費等のコスト上昇に伴う委託料の増及びクリーンの森合志及び環境美化センター管理業務の同コスト上昇に伴う菊池広域連合負担金の増

成果指標		(単位)	データ取得方法
ア	適正に回収されたごみの量	t	搬入集計表.xlsxより
⇒ イ	助成したごみステーションの数	件	ごみ一時保管所助成一覧.xlsxより
ウ	助成した再生資源保管所の数	件	ごみ一時保管所助成一覧.xlsxより

(2)成果指標・総事業費の推移

		単位	5年度 実績(決算)	6年度 実績(決算)	7年度 目標(当初予算)	7年度 実績(決算)	8年度 目標(当初予算)	9年度 予定	10年度 見込	11年度 見込
成果指標	ア	t	14,459	14,128	14,166	14,396	14,464	14,456	14,594	14,739
	イ	件	41	47	50	36	50	50	50	50
	ウ	件	2	6	3	2	3	3	3	3
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	250			407				
	地方債	千円								
	その他	千円	65,075	66,046	67,799	65,052	66,045	66,325	66,825	67,325
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	117,311	122,703	629,371	620,300	689,624	702,210	705,590	708,877
	(A) 事業費計	千円	182,636	188,749	697,170	685,759	755,669	768,535	772,415	776,202

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

令和7年度は、14,396ｔ(うち、11,852tを市業務委託により収集)のごみ排出があった。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所(ごみステーション)から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成、分別の一部変更にともなう冊子『ごみの分け方・出し方』の作成配布など、市民に対し分別の周知等も行った。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。
各ごみステーション管理者(自治会等)が設置した自治会に対して補助を行っている(申請数25件、助成したごみステーションの数36か所、補助決定額1,006,500円)
また、再生資源保管所を設置している団体に対し補助を行っている(申請数2件、助成した再生資源保管所の数2か所、補助決定額81,500円)。
環境美化推進員説明会を令和7年6月に開催し、地域の美化推進等について説明を行った。

(4)今後の事業の方向性

□廃止 □縮小 □事業のやり方改善 ☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)